

## 進路だより～Aspiration 2022.10.19

中間考査も終わり、秋がますます深まってきました。朝と夜の寒暖差が大きくなっていく時期です。体調管理に気を付けましょう。試験期間中も、志望理由書や小論文の添削、面接指導などで先生方から指導を受ける3年生の姿を多く見かけました。これから3年生は学校推薦型選抜の入試が本格化します。志望理由や試験対策の学習を再確認して、万全の準備をして本番の入試に臨みましょう。1・2年生はコース選択の予備調査の提出がありました。来月の本調査に向けて、担任の先生との面談などを通して、進むべき道は決められたのでしょうか？これからの時期が1年のうちで最も学習に取り組みやすい季節です。これまで以上に家庭学習の充実を図り、努力を重ねていきましょう。

### 各学年の皆さんへのメッセージ

○3年生：受験に向けてペースアップしていく時期となりました。毎日の積み重ねはもちろん、模試の結果も参考にしながら、焦ることなく、自分を信じて目標達成に向けて精一杯頑張らしましょう。全国のライバルたちは、平日基本は6時間程度、どんなに少なくとも最低4時間は勉強しています。善一生はどうでしょうか。これから受験が控えているのにまさか動画やドラマを毎日見ているなんてことはありませんか？せっかく自分が選んだ善一という道で、あと5ヶ月ぐらいはとことん勉強に向き合ってみませんか？この半年で人生が決まるんですよ。楽しい気持ち、早く決めてしまいたい気持ちはよくわかります。でも、オイシイことは最後まで頑張った人に訪れるものです。受験に向けて、一日一日を大事にして、未来を自分の手で掴んでください。

○2年生：秋は志望校を絞り込む時期であり、受験生とし

てのスタートに向けて学習習慣を見直す時期となります。**自分の進路は自分でつかみ取らなければなりません。最後に頼れるのは自分の努力です。**

志望校が既に決まっている人、素晴らしいです。目標がはっきりすると、自ずとすべきことが見えてきます。まずは**進路資料室に来て、過去問を見てみませんか？**聞いたことがあると思いますが、「赤本」というものです。他にも、**保育体験や看護体験など、アンテナを高く張って、自分から募集を探す**など、積極的に動いていきましょう。

志望校が決め切れていない人、まずは仮に一つ決めてしまいましょう。ただし、**大事なことは、「自分で決める」**ことです。「友達がここに行きたいと言っているから」とかはダメ。自分の人生です。そんな大事なことは他人に委ねてはいけません。ただ、分からないことはたくさんあるでしょう。経済的な制約もあると思います。**自分でたくさん学校を調べて、候補を挙げて、保護者や先生と相談して、自分が将来どのようなことをしたいのか、そのためにその学校でどのように成長できるのか、とにかく自分と向き合**って、**進路を今から考え**ましょう。そして、その進路の幅を広げてくれるのは、学力です。**学力が高ければ多くの選択肢から選ぶことができます。**反対に学力がなければ限られた選択肢しかありません。毎日学習時間を確保し、選択の幅を広げられるようにしましょう。まずは学校から与えられる課題を自力で解き、理解するサイクルを身に付けましょう。また、志望校決定に向けて、『夢ナビ』などを活用して学部学科の研究を行いましょう。2年生の3学期は受験生にとっては3年生0学期の位置づけとなります。つまり、2年生の2学期は実質的に受験生となる準備をする時期なのです。この時期を有効に使うことで目標実現に近づくことができます。

○1年生：これからの時期は、「高校生」としての学習習慣を定着させる大切な時期です。まず目の前に文系・理系のコ

ース選択が待ち構えており、これが進路選択の第一歩です。後悔のない選択が行えるようにしましょう。

コース選択をすでに決定した人は、進路研究をさらに深め、各教科の力をつけていきましょう。学習時間は、平日、休日とも3時間以上を確保し、苦手教科の克服に努めましょう。

### 志望校への『ストーリー』を描こう

近年の大学入試は、特別選抜（総合型選抜や学校推薦型選抜）で募集枠を拡大している傾向があります。その際には志望理由書の提出や面接・プレゼンテーションが課されることが多く、「なぜその大学でないといけな

いか」ということを自分の言葉で語るができる生徒が求められています。そのため大事なことは**志望校への『ストーリー』を描けているかどうか**です。例えば、良い志望理由書はおおまかには以下の①～④の流れです。

- ① **自分の興味・関心の中でのきっかけとなる体験や、感じた疑問**
- ② **①を受けて自分で動いた経験（読書や探究学習、ボランティア、訪問など）**
- ③ **②から見えた気づき（課題や問題点）**
- ④ **③を改善、解決するために大学で何をどのように学び、社会にどう役立てるか**

3年生になり、いざ受験となった時に、**②の自分で動いた経験が足りず、話すネタ・書くネタがない生徒が毎年多くいます。**②がなければ③も④も深めることができず、薄っぺらい志望理由になりがちです。多くの大学が特別選抜で求めているのは自発的に課題を見つけ、自ら積極的に行動できる生徒です。1・2年生もまずは図書室の新書を読むことから始めてみると良いでしょう。今のうちから積極的に読書やボランティアなどの経験を積んで、自分の将来に向けて見識を広めていきましょう。